講義名	英語B(総合)				授業形態	その他			
						Handou	s may be given in class as needed. If a student is absent, the handout will	be uploaded to TE	EAMS.
	D C	開講期・曜日・時限 後期 金曜日 2時限			適宜、	受業中にプリントを配布する。欠席の場合は、TEAMSにアップロードする。			
担当教員	Romney Cameron					!			
		単位数 2	履修開始年次 1年生	ナンバリン	ング				
主題と概要									
						授業計			
This class is designed to get students to feel more confortable with spoken English. The aim is to improve practical and basic English skills, especially oral communication skills, including a review of the English content studied in high school. Students will also be encouraged to actively use English to communicate with others.						1. オリ	エンテーション/英語の3つの黄金律		
このコースでは受講生の皆さんに英語による口語コミュニケーションに習熟してもらうための授業を実施します。具体的なコースの目的は、高校での学習内容も含め、特にオーラルコミュニケーションにおける実践的かつ基本的な英語のスキルを向上させることです。授業では積極的に英語でコミュニケーションを実践してください。						2. Uni 3. Uni	エンテーション/ 英語の2つの黄金律 1. 人に何かを終むとと 2. 特定機能にといる 2. 特定機能において話す 3. 人が何をといて話す 4. 日代、曜日、イベントについて話す 5. 日ゲーションの説明 7. 特殊の計画について、1. 特殊の計画について、1. 特殊の計画について、1. 特殊の計画について、1. 特殊の計画について、1. 特殊の計画について、1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		
「シ表現の) // 一分や中が4大師の人でかえてはいています。 (女本 しゅ 情報の) に大師 (コミュニノーションを表現して \						4. Uni 5. Uni	3. 人が何をしているかについて話す 4. 日付、曜日、イベントについて話す		
						6. Uni 7. Uni	5. 仕事を説明する 6. ロケーションの説明		
						8. Uni 9. Uni	- 7. 将来の計画について - 8. 学校のスケジュールについて話す		
<u> </u>						10. Un	7. 特殊の計画により 8. 学校のスケジュールについて話す 1.9. 自分ができるとはについての話 1.0. 日常的なことについて話す		
<u> </u>						13. Un	1 10. 日本的なことについて語り 1 11. 数字を印してなす 1 12. 目分がしたことについて話す 1 13. 物や動物を描写する 1 14. 質問をする		
						15. Un	t 14. 質問をする		
到達目標						11			
Improve listening ability リスニング力を向上させる。						11			
• Isprove conversation ability 会話方向上させる。									
• Understand cultural differences between English speakers and Japanese speakers 英語話者と日本語話者との文化的な違いを理解できる。									
央語語者と日本語語者との文化的な連いを理解できる。									
1									
l									
						J I			
提出課題						11			
	nomework every week listed on TEAMS. Students will need to			If students are absent,	they still need to do the homework.				
毎週の課題はTEA	MSに掲示する。受講生は翌週の授業までにオンラインの課題をす	「る。欠席した場合でも	課題をしなければならない。			授業形	態(アクティブ・ラーニング)		
						l ⊢⊸	ア:PBL(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							ウ:ディスカッション、ディベート	0	エ:グループワーク
						I —	オ:ブレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
1						英会記	キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		
							修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間	tudonto will nood	I to review their notes and the textbook (one to two hours). There will also be a homework
課題(レポー)	や小テスト等)に対するフィードバックの方法					assign	ment each week based on the textbook and classroom activities (one to two ho	ırs).	to review their notes and the textbook (one to two hours). There will also be a nomework
Each week the	class will begin with a review of the answers for the home	work and small quizze	s.			毎回、	授業のはじめに前回の授業内容に関するクイズを実施するので、ノートや教科書の復	習して準備をするこ	こと。 (2時間程度)毎回、教科書や授業活動に基づく課題があるので、取り組むこと。 (2時間程度)
毎回、授業のは	毎回、授業のはじめに前週の課題の解説とクイズを実施する。								
						卒業認	定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
評価の基準								日常のさまざまな	な場面を想定し、スピーキングやリスニングを積み重ねて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図
	10% 授業參加					ること 済学部	により、国際埋解を深め、卒業時に必要なグローバル社会で活躍できるコミュニケー 生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニ	ション能刀の育成に ケーション能力の修	な場面を想定し、スピーキングやリスニングを積み悪ねて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図 である。これらの能力は商学部生に求められる台業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経 修得に役立つ。
Textbook Check: Quizzes: 15%	35% 教科書チェック クイズ/小テスト								
Participation: 10% 授業参加									
The second section of the sect									
屋板にまれって	この注意 明言性					11			
復修にめたう	この注意・助言他	6 40		Danidanaa	4 4bl 14 4bb4	双方向	受業の実施及びICTの活用に関する記述		
more than five	rires active participation and attendance. Students will lo times.	ose points if they do	not actively participate. S	students will not be able	a to pass the class II they are absent	Both t	he homework and the quizzes in this class will be online. Students will need	to bring an inte	ernet connected device, such as a smartphone or tablet (iPad), to class every week. They will
Students are required to purchase a new copy of the textbook. Used copies are not acceptable. Students must turn in the textbook three times to be checked by the instructor. Students						also r	eed to upload their homework to TEAMS each week.		
must show their own original answers. 授業に出席し、積極的に参加することを求めます。積極的に参加していない場合は、減点対象となります。5回以上欠席すると単位を取得することができません。						課題と	クイズはオンラインで実施する。受講生はスマートフォンやタブレットなどのインタ	ーネットにアクセス	スできる機器を毎週持参する必要がある。また、毎週、オンラインで課題を提出する必要がある。
「弦楽に山から、何性型リンタルフをしてどみのよう。何性型リンタルしていないたちに、然たが女子のよう。2回北人人からりなこれとながけずしてしたできょいの。 新しい教料書は別人が必要です。中古教料書に不可、教料書は知見出し、講師のチェックを受ける必要があります。教料書の解答は、各目がオリジナルで行うこと。					٤٤.				
						実務経	険の有無及び活用		
						H			
教科書						1 l			
	Spotlight 3rd Edition: Starter.	Alastair Graham-	larr	Abax Publishing	978-1-78547-077-6	1 I			
—		+		+ +		(## =#w			
公本図書						備考	The foregoing of this place is 5, 10 to 50	dana min n	and a control to Facility half half and marks at 20 at
参考図書				1 1	ı	Please	note: the language of this class is English. Students are expected to communications, grades and other procedural matters.	nicate with the i	nstructor in English both inside and outside of the classroom, including communication about
		+		+		注意事	項:この授業の言語は英語です。出席や成績、その他の手続きに関することなど、授	業の内外を問わず、	英語で講師とコミュニケーションをとることが求められます。
						4			
I				1 1		11			